

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年4月27日

独立行政法人水資源機構
木曾川中下流用水総合管理所
所長 津曲 孝一

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、木曾川中下流用水総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、木曾川水系及び豊川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出して下さい。

なお、参考見積書の様式は問いません。

- (2) 提出期間：令和8年4月27日(月) から令和8年5月19日(火) まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前9時から午後5時まで

- (3) 提出先

独立行政法人水資源機構 木曾川中下流用水総合管理所 所長 津曲 孝一 宛
【担当】工務課

〒495-0036 愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710 FAX 0587-97-1482

- (4) 提出方法

書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

- (1) 業務概要等

別紙-1～2の通りとする。

- (2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（１）「業務内容」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します（別紙－３参照）。

（３）技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和８年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

５．募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

（１）提出期間：令和８年４月２７日（月）から令和８年５月８日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後５時まで

（２）提出場所：３．（３）に同じ。

（３）提出方法：３．（４）に同じ。

６．質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

（１）閲覧期間：令和８年５月１３日（水）から令和８年５月１９日（火）まで

（２）閲覧方法：ホームページに掲載します。

７．参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とする。

８．ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

９．その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

別紙－ 1

見積り依頼書

独立行政法人水資源機構

木曽川中下流用水総合管理所

木曾川水管橋の塗替塗装及び水管橋空気弁のステージ更新に係る実施設計業務の発注を予定しています。

業務発注の参考とするため、下記の第1～3章を実施した場合の、歩掛見積りの作成を依頼します。

第1章 業務内容（木曾川水管橋塗替塗装実施設計）

第1節 業務目的

木曾川水管橋は昭和49年に完成し、三重県側に農業用水及び都市用水を送水することを目的として使用されている水管橋で、本業務は、木曾川水管橋の塗替塗装に係る実施設計業務を行うものである。

なお、塗替塗装の1回目は平成2～8年度に7工区、2回目は平成14～25年度に5工区に分けて実施している。

第2節 木曾川水管橋塗替塗装実施設計

2-1 塗装劣化状況調査

塗替塗装の工区分割及び実施順位を計画するために既設水管橋関係施設一式の塗装劣化状況について、発錆や塗装剥離等の現地調査を行う。現地調査は、目視確認とし、アーチ部の高所は双眼鏡等による確認、木曾川河川部における水管橋底部は棒付き鏡等による確認方法も可とする。

2-2 有害物質含有量調査

農業用水管1条、都市用水管2条並びにアーチ部の4箇所をそれぞれ左岸、中央、右岸の計12箇所において塗膜の有害物質（鉛・クロム・PCB）含有量調査を行う（※）。

調査に必要な資料採取にあたっては、歩廊等から手の届く範囲で採取するものとする。

※：見積依頼する歩掛は、調査を実施するために必要な塗膜の採取（補修塗装含む）までとし、鉛・クロム・PCBの分析費用は別途計上するため含めないものとする。

2-3 塗膜除去工法の決定

有害物質含有量調査結果に基づき塗膜除去工法の決定を行う。

工法選定にあたっては、工区毎の施工であること、河川を横断していること、高速道路に隣接していること等も考慮して決定するものとする。

2-4 塗替塗装仕様の決定

塗膜劣化状況調査、塗料最新動向、ライフサイクルコスト等を踏まえて塗替塗装仕様の決定を行う。

2-5 施工計画の決定

塗替塗装の実施に必要となる施工計画を立案する。なお、施工計画は工区毎に行うものとするが共通部分はまとめて整理を行ってもよいものとする。

施工計画立案にあたっては、次の項目を考慮するものとする。

- ①工事発注に必要な図面、数量計算、工程表、根拠資料作成を実施する。
- ②仮設計画は河川や高速道路に、粉塵飛散、資材落下等をさせない計画とする。
(資材の搬出入にあたっては、木曾川左右岸の堤防道路を活用できるものとする)
- ③河川管理者及び NEXCO との協議の必要性を踏まえ、これらの関係機関の制約条件を確認し、施工可能な形で整理を行う。
- ④塗替塗装工事期間は準備期間を除き 10/1 以降の半年間とし、半年間で塗替塗装、跡片付け、発生材処分が完了する計画とする。

2-6 概算工事費算出

上記を踏まえ、工区毎に概算工事費を算出する。

第2章 業務内容（水管橋空気弁ステージ更新検討）

第1節 業務目的

本業務は、木曾川水管橋に設置されている空気弁ステージ更新に係る検討を行うものである。

なお、既設空気弁ステージ26箇所（13箇所×2）の内、平成25年度に5箇所の更新を実施している。

第2節 水管橋空気弁ステージ更新検討

2-1 既設空気弁ステージ状況調査

空気弁ステージ更新の実施順位を計画するために既設ステージの状況について、損傷や腐食箇所等の現地調査を行う。現地調査は、目視確認とする。

2-2 施工計画の決定

既設空気弁ステージの撤去・更新に必要となる施工計画を立案する。なお、施工計画は更新が最優先となる箇所とその他の箇所で行うものとするが共通部分はまとめて整理を行ってよいものとする。

また、空気弁ステージの更新範囲は平成25年度に更新した範囲（別添の参考図に示す通り）を基本とするが、2-1の調査結果により、更新範囲を拡大する必要がある場合は、更新範囲の見直しを行うものとする。

施工計画立案にあたっては、次の項目を考慮するものとする。

- ①工事発注に必要な図面、数量計算、工程表、根拠資料作成を実施する。
- ②仮設計画は河川や高速道路に、資材落下等をさせない計画とする。なお、空気弁ステージ撤去・更新は水管橋上で行うことから必要な仮設の検討を行うとともに、構造計算が必要な仮設物は構造計算を実施して構造を決定する。
資材の搬出入にあたっては、木曾川左右岸の堤防道路を活用できるものとする。
- ③河川管理者及びNEXCOとの協議の必要性を踏まえ、これらの関係機関の制約条件を確認し、施工可能な形で整理を行う。

2-3 概算工事費算出

上記を踏まえ、更新が最優先となる箇所とその他の箇所で、空気弁ステージの更新に必要な概算工事費を算出する。

なお、空気弁ステージ概算製作費用は平成25年度に更新したステージを基本（別添の参考図に示す通り）とするが、2-1の調査結果により、更新範囲を拡大する必要がある場合は、更新範囲の見直しを行い、算出するものとする。

第3章 業務内容

第1節 とりまとめ等

1-1 総合検討

第1章、第2章の業務内容について総合的に検討を行うものとする。

1-2 照査

「設計業務照査の手引書（農林水産省）」等に基づき、第1章、第2章の業務内容について、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行うものとする。

1-3 報告書作成

設計業務の成果として、第1章、第2章の業務内容について、報告書を作成する。

第2節 業務上の留意事項

1. 受注者は、発注者と緊密な連絡をとり、手戻りのないよう業務の履行にあたらなければならない。
2. 設計に当たっては、社会的条件・維持管理・施工性・安全性・経済性等について十分考慮しなければならない。
3. 設計に適用した基準等は、「出典先」を報告書に記載するものとする。
4. 構造計算に当たっては、「（1）適用基準（2）設計条件（3）計算式及び計算結果」等、順を追って確認出来るようとりまとめるものとする。
5. 貸与資料の報告書を引用する際は、出来るだけコピーを添付又は引用ページを記載するものとする。

以 上

別紙－ 2

見積り依頼書

独立行政法人水資源機構

木曽川中下流用水総合管理所

別紙－２は、別紙－１とほぼ同内容ですが、以下の下線部のみを変更したものとなっています。

別紙－２についても、歩掛見積りの作成を依頼します。

第 1 章 業務内容（木曽川水管橋塗替塗装実施設計）

第 1 節 業務目的

木曽川水管橋は昭和 49 年に完成し、三重県側に農業用水及び都市用水を送水することを目的として使用されている水管橋で、本業務は、木曽川水管橋の塗替塗装に係る実施設計業務を行うものである。

なお、塗替塗装の 1 回目は平成 2～8 年度に 7 工区、2 回目は平成 14～25 年度に 5 工区に分けて実施している。

第 2 節 木曽川水管橋塗替塗装実施設計

2-1 塗装劣化状況調査

塗替塗装の工区分割及び実施順位を計画するために既設水管橋関係施設一式の塗装劣化状況について、発錆や塗装剥離等の現地調査を行う。現地調査は、目視確認とし、アーチ部の高所は双眼鏡等による確認、木曽川河川部における水管橋底部は棒付き鏡等による確認方法も可とする。

2-2 有害物質含有量調査

農業用水管 1 条、都市用水管 2 条並びにアーチ部の 4 箇所において塗膜の有害物質（鉛・クロム・PCB）含有量調査を行う（※）。

調査に必要な資料採取にあたっては、歩廊等から手の届く範囲で採取するものとする。

※：見積依頼する歩掛は、調査を実施するために必要な塗膜の採取（補修塗装含む）までとし、鉛・クロム・PCB の分析費用は別途計上するため含めないものとする。

2-3 塗膜除去工法の決定

有害物質含有量調査結果に基づき塗膜除去工法の決定を行う。

工法選定にあたっては、工区毎の施工であること、河川を横断していること、高速道路に隣接していること等も考慮して決定するものとする。

2-4 塗替塗装仕様の決定

塗膜劣化状況調査、塗料最新動向、ライフサイクルコスト等を踏まえて塗替塗装仕様の決定を行う。

2-5 施工計画の決定

塗替塗装の実施に必要となる施工計画を立案する。なお、施工計画は最優先工区のみ整理を行うものとする。

施工計画立案にあたっては、次の項目を考慮するものとする。

- ①工事発注に必要な図面、数量計算、工程表、根拠資料作成を実施する。
- ②仮設計画は河川や高速道路に、粉塵飛散、資材落下等をさせない計画とする。
(資材の搬出入にあたっては、木曾川左右岸の堤防道路を活用できるものとする)
- ③河川管理者及び NEXCO との協議の必要性を踏まえ、これらの関係機関の制約条件を確認し、施工可能な形で整理を行う。
- ④塗替塗装工事期間は準備期間を除き 10/1 以降の半年間とし、半年間で塗替塗装、跡片付け、発生材処分が完了する計画とする。

2-6 概算工事費算出

上記を踏まえ、最優先工区のみ概算工事費を算出する。

第2章 業務内容（水管橋空気弁ステージ更新検討）

第1節 業務目的

本業務は、木曽川水管橋に設置されている空気弁ステージ更新に係る検討を行うものである。

なお、既設空気弁ステージ26箇所（13箇所×2）の内、平成25年度に5箇所の更新を実施している。

第2節 水管橋空気弁ステージ更新検討

2-1 既設空気弁ステージ状況調査

空気弁ステージ更新の実施順位を計画するために既設ステージの状況について、損傷や腐食箇所等の現地調査を行う。現地調査は、目視確認とする。

2-2 施工計画の決定

既設空気弁ステージの撤去・更新に必要な施工計画を立案する。なお、施工計画は更新が最優先となる箇所のみ整理を行うものとする。

また、空気弁ステージの更新範囲は平成25年度に更新した範囲（別添の参考図に示す通り）を基本とするが、2-1の調査結果により、更新範囲を拡大する必要がある場合は、更新範囲の見直しを行うものとする。

施工計画立案にあたっては、次の項目を考慮するものとする。

- ①工事発注に必要な図面、数量計算、工程表、根拠資料作成を実施する。
- ②仮設計画は河川や高速道路に、資材落下等をさせない計画とする。なお、空気弁ステージ撤去・更新は水管橋上で行うことから必要な仮設の検討を行うとともに、構造計算が必要な仮設物は構造計算を実施して構造を決定する。

資材の搬出入にあたっては、木曽川左右岸の堤防道路を活用できるものとする。

- ③河川管理者及びNEXCOとの協議の必要性を踏まえ、これらの関係機関の制約条件を確認し、施工可能な形で整理を行う。

2-3 概算工事費算出

上記を踏まえ、更新が最優先となる箇所のみ、空気弁ステージの更新に必要な概算工事費を算出する。

なお、空気弁ステージ概算製作費用は平成25年度に更新したステージを基本（別添の参考図に示す通り）とするが、2-1の調査結果により、更新範囲を拡大する必要がある場合は、更新範囲の見直しを行い、算出するものとする。

第3章 業務内容

第1節 とりまとめ等

1-1 総合検討

第1章、第2章の業務内容について総合的に検討を行うものとする。

1-2 照査

「設計業務照査の手引書（農林水産省）」等に基づき、第1章、第2章の業務内容について、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行うものとする。

1-3 報告書作成

設計業務の成果として、第1章、第2章の業務内容について、報告書を作成する。

第2節 業務上の留意事項

1. 受注者は、発注者と緊密な連絡をとり、手戻りのないよう業務の履行にあたらなければならない。
2. 設計に当たっては、社会的条件・維持管理・施工性・安全性・経済性等について十分考慮しなければならない。
3. 設計に適用した基準等は、「出典先」を報告書に記載するものとする。
4. 構造計算に当たっては、「（1）適用基準（2）設計条件（3）計算式及び計算結果」等、順を追って確認出来るようとりまとめるものとする。
5. 貸与資料の報告書を引用する際は、出来るだけコピーを添付又は引用ページを記載するものとする。

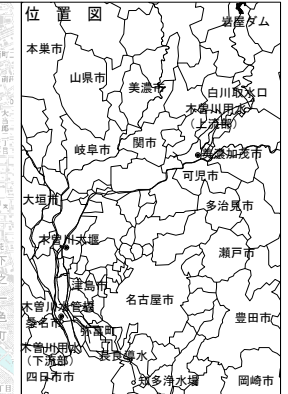
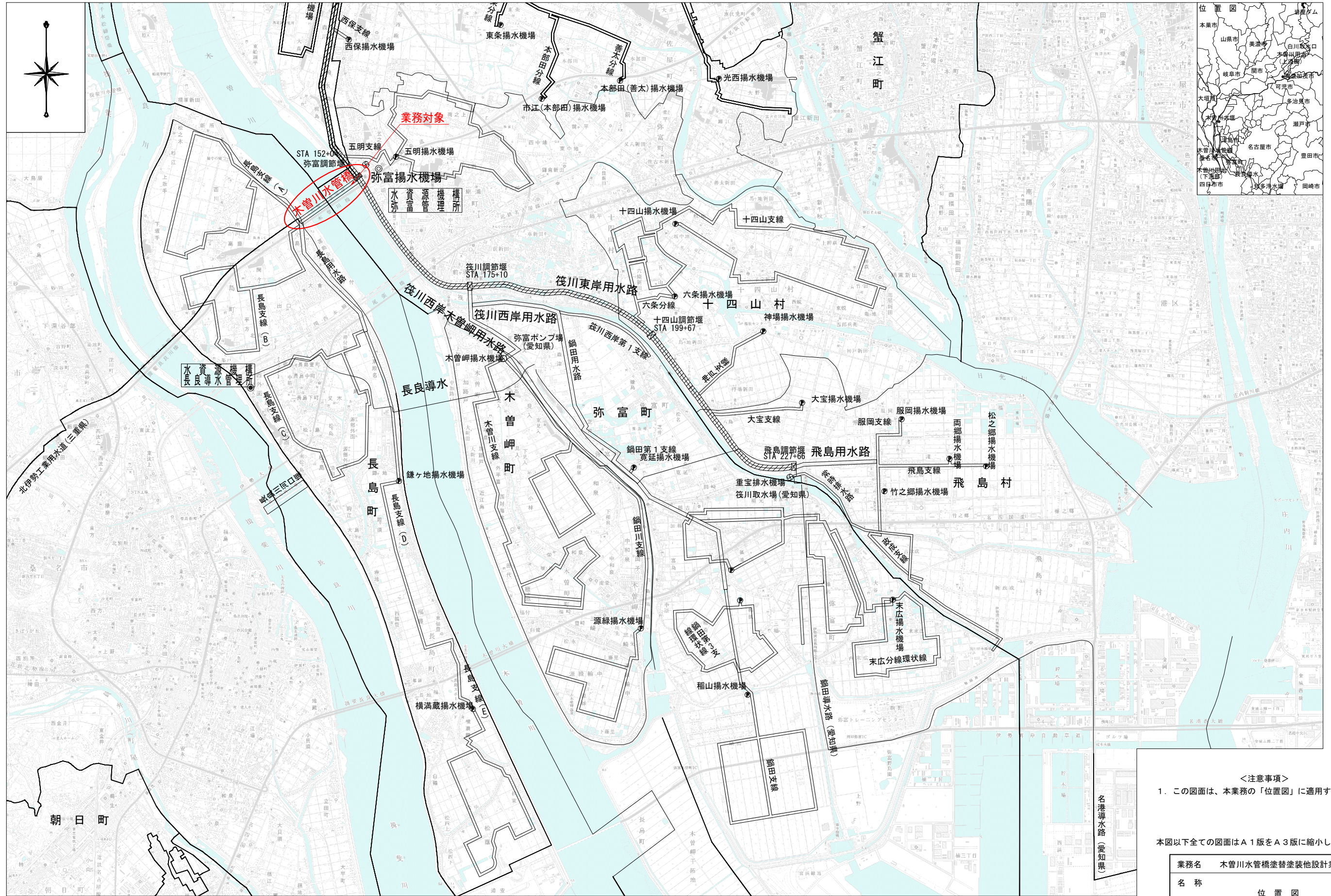
以 上

参考資料

木曾川水管橋塗替塗装他設計業務

参 考 図

独立行政法人水資源機構
木曾川中下流用水総合管理所



<注意事項>

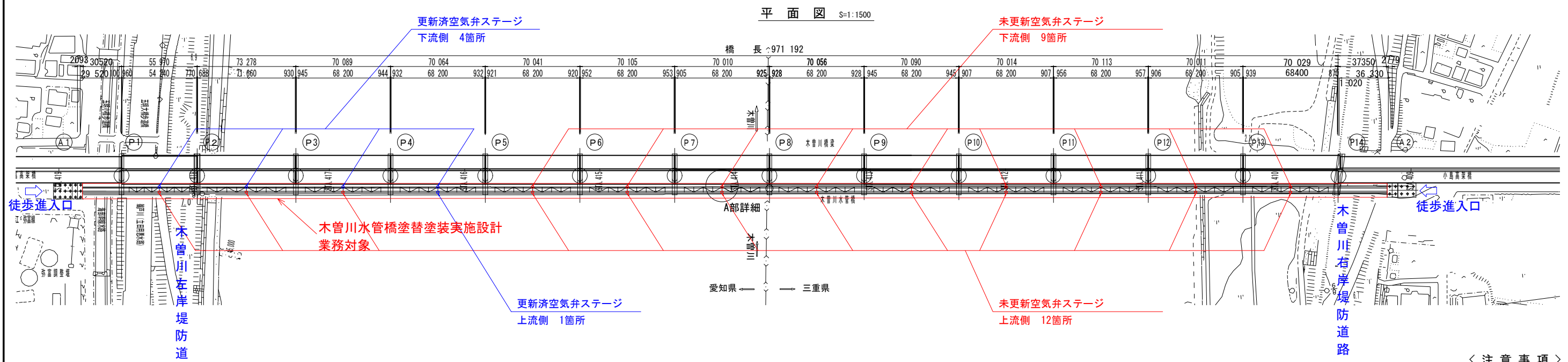
1. この図面は、本業務の「位置図」に適用する。

本図以下全ての図面はA1版をA3版に縮小したものである。

業務名	木曾川水管橋塗替塗装他設計業務		
名称	位置図		
登録番号		縮尺	S=1:25,000
		整理番号	
独立行政法人水資源機構 木曾川中下流用水総合管理所			

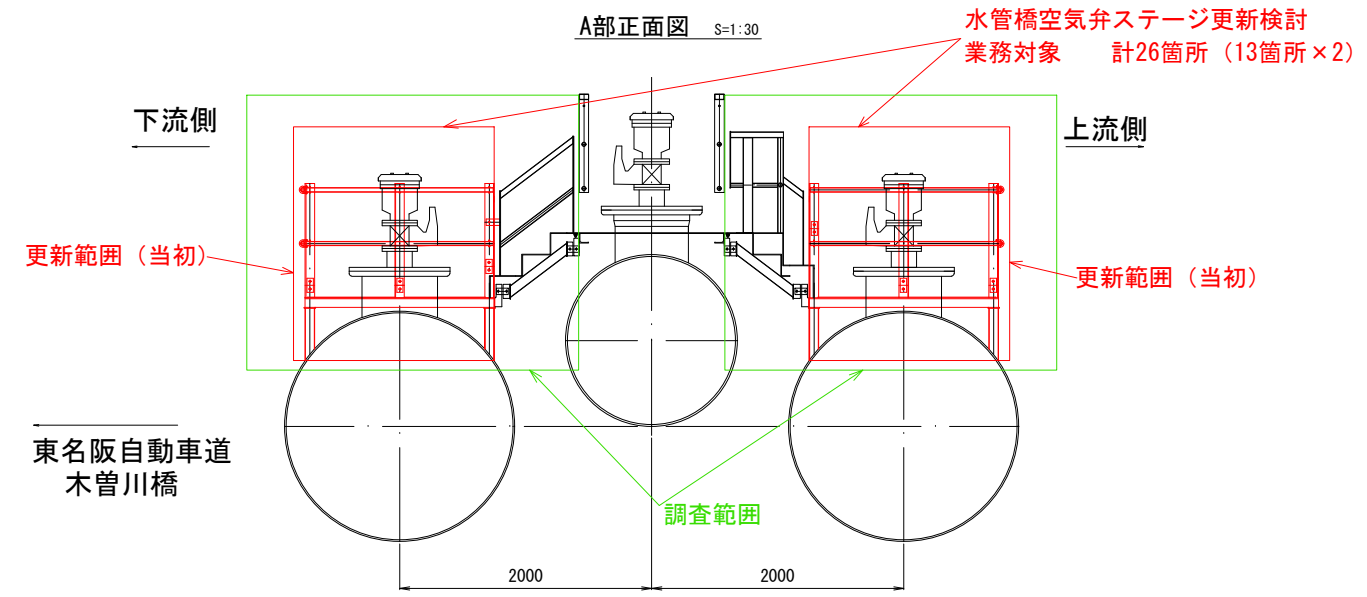
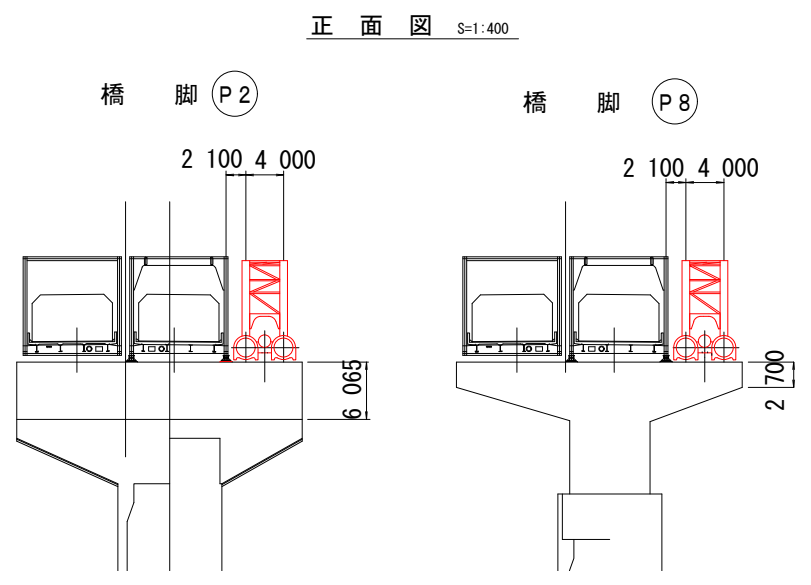
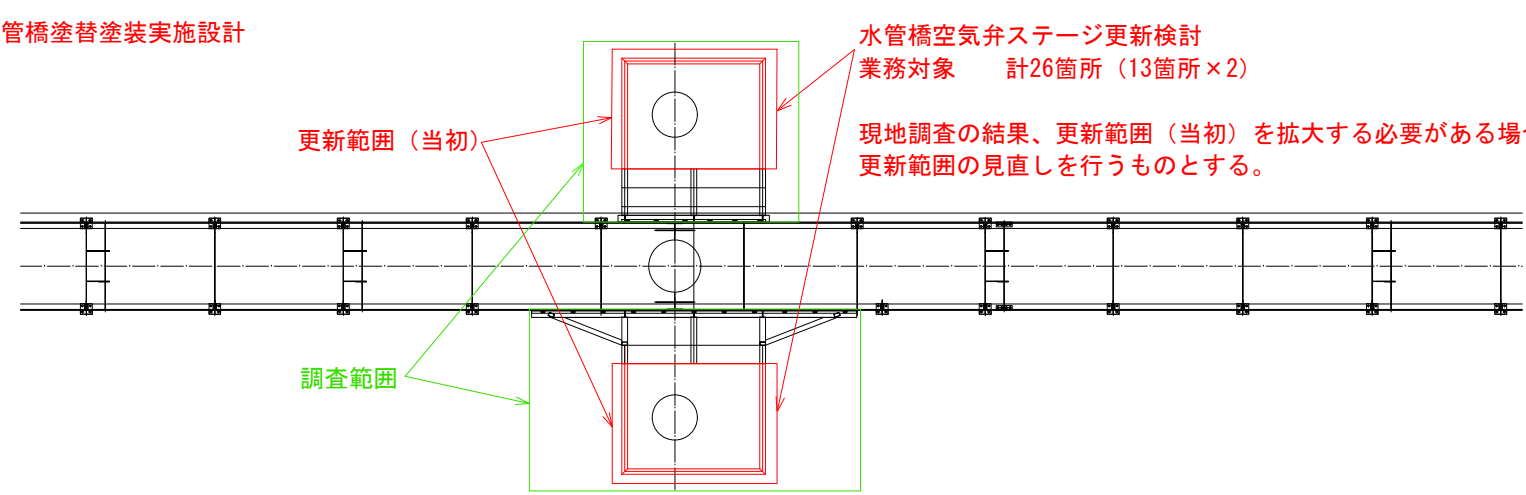
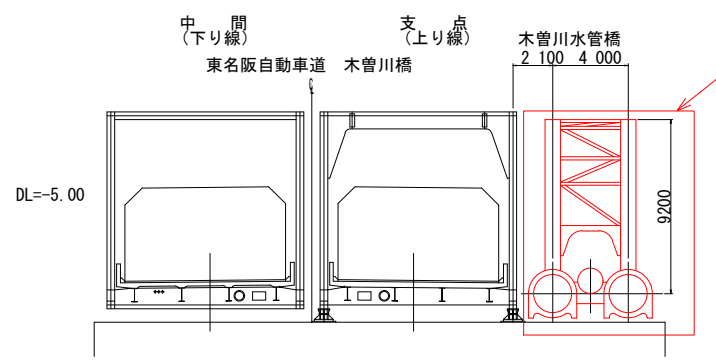
1 : 25,000





〈 注意事項 〉

- 適用
この図面は、本業務の「全体一般図」に適用する。
- 単位
構造寸法は、特に示さない限りmm単位で示す。

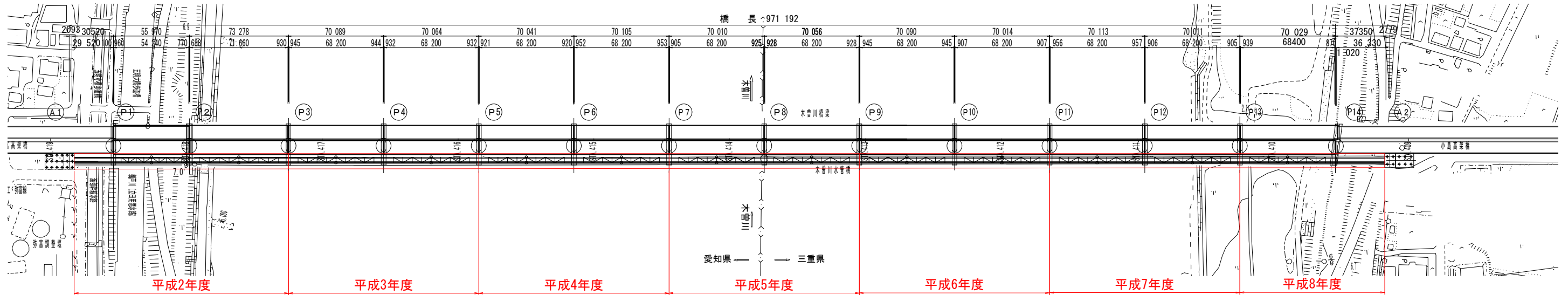


業務名	木曾川水管橋塗替塗装他設計業務		
名称	全体一般図		
登録番号	縮尺	S=図示	
	整理番号		
独立行政法人水資源機構 木曾川中下流用水総合管理所			

塗替塗装工区割平面図

(1回目)

平面図 S=1:1500



木曾川水管橋塗替履歴 (1回目)

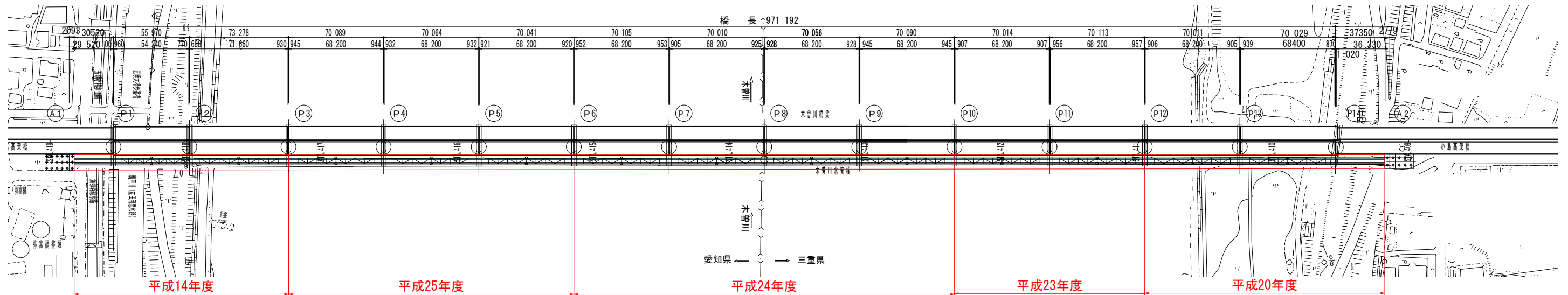
工事発注年度	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	
塗装箇所	A1~P3	P3~P5	P5~P7	P7~P9	P9~P11	P11~P13	P13~A2	
塗装仕様	下塗: -	タールエポキシ	-	タールエポキシ	-	タールエポキシ	上弦、歩廊、手摺等	送水管
	中塗: -	塩化ゴム	-	塩化ゴム	-	塩化ゴム	タールエポキシ	エポキシ
	上塗: -	塩化ゴム	-	塩化ゴム	-	塩化ゴム	塩化ゴム	アクリルシリコンフッ素
使用塗料	下塗: -	エポータルNB-30	-	エポータルNB-30	-	エポータルNB-30	エポータルハイボン20テクノ	ハイボン20
	中塗: -	ハイラバーEスーパー	-	ハイラバーEスーパー	-	ハイラバーEスーパー	ハイラバーEスーパー	ハイボン30マステック
	上塗: -	ハイラバーEスーパー	-	ハイラバーEスーパー	-	ハイラバーEスーパー	ハイラバーEスーパー	ディフロン100
使用塗料メーカー	-	日本ペイント	-	日本ペイント	-	日本ペイント	日本ペイント	日本ペイント

木曾川水管橋塗替 (建設当時)

工場/現場	内面/外面	塗装仕様
工場	内面	ウォッシュプライマー 15μ RT~70、500μ以上
	外面	ウォッシュプライマー 15μ RT~70、500μ以上 NKKRシルバー 15μ以上
現場	内面	RT~70、500μ以上 (溶接部)
	外面	RT~70、500μ以上 (補修部) NKKRシルバー 15μ以上 公団指定色 40μ以上

(2回目)

平面図 S=1:1500



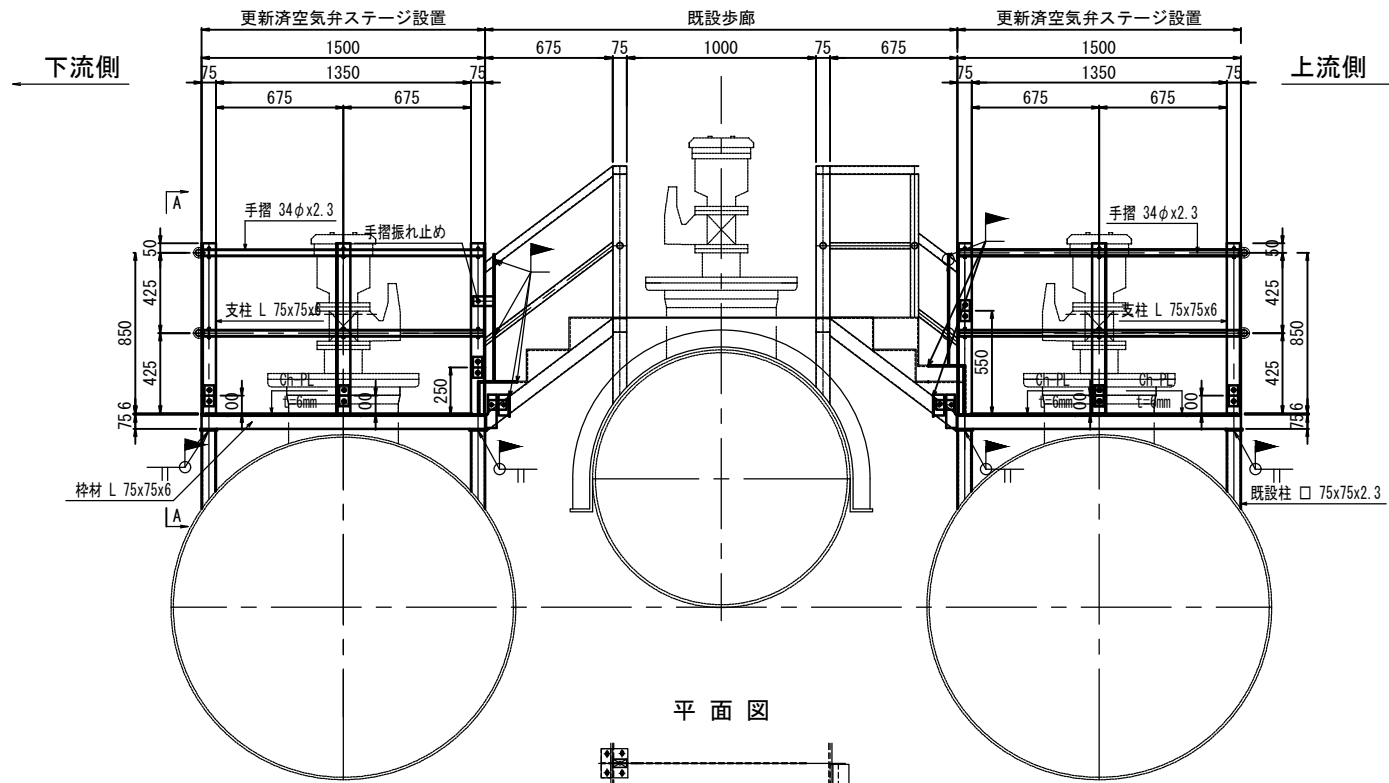
木曾川水管橋塗替履歴 (2回目)

工事発注年度	H14	H20	H23	H24	H25		
塗装箇所	A1~P3	P12~A2	P10~P12	集合管	P6~P10	P3~P6	サージタンクバルブ室内配管
塗装仕様	下塗: ポリウレタン	エポキシ	エポキシ	エポキシ炭化水素樹脂	エポキシ	エポキシ	エポキシ
	中塗: ポリウレタン	ポリウレタン	ふっ素	-	ふっ素	ふっ素	ふっ素
	上塗: ポリウレタン	ポリウレタン	ふっ素	エポキシ炭化水素樹脂	ふっ素	ふっ素	ふっ素
使用塗料	下塗: Vグラン	エポオールスマイル	エポオール	テナクソン	エポオールスマイル	ハイボン20ファイン	ハイボン20ファイン
	中塗: VトップH	Vトップスマイル	VフロンH	-	VフロンH	ディフロン100ファイン	ディフロン100ファイン
	上塗: VトップH	Vトップスマイル	VフロンH	テナクソン	VフロンH	ディフロン100ファイン	ディフロン100ファイン
使用塗料メーカー	大日本塗料	大日本塗料	大日本塗料	ドイツ製	大日本塗料	日本ペイント	日本ペイント

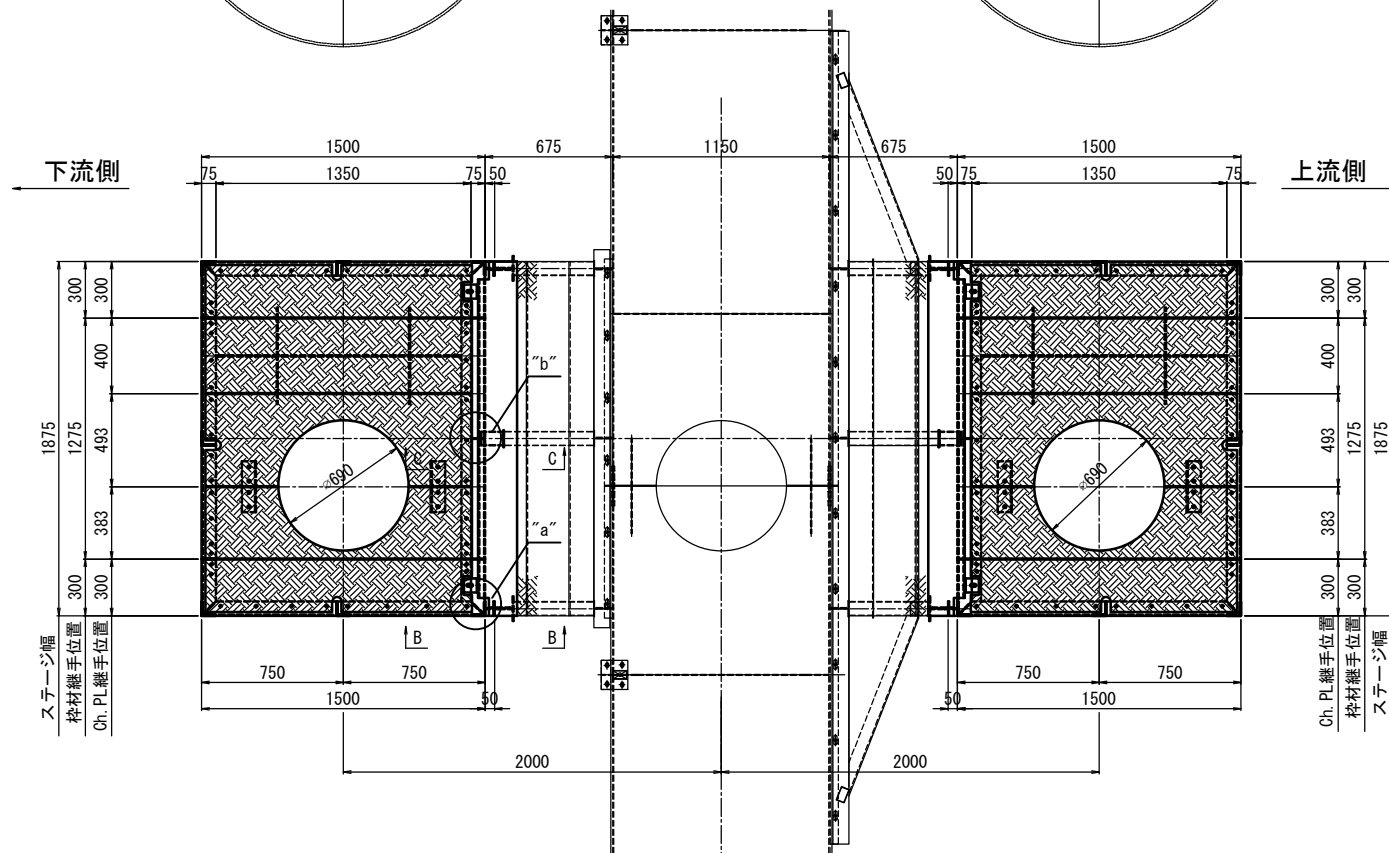
業務名	木曾川水管橋塗替塗装他設計業務		
名称	塗替塗装工区割平面図		
登録番号	縮尺: S=1:1500		
整理番号			
独立行政法人水資源機構 木曾川中下流用水総合管理所			

更新済空気弁ステージ

断面図



平面図

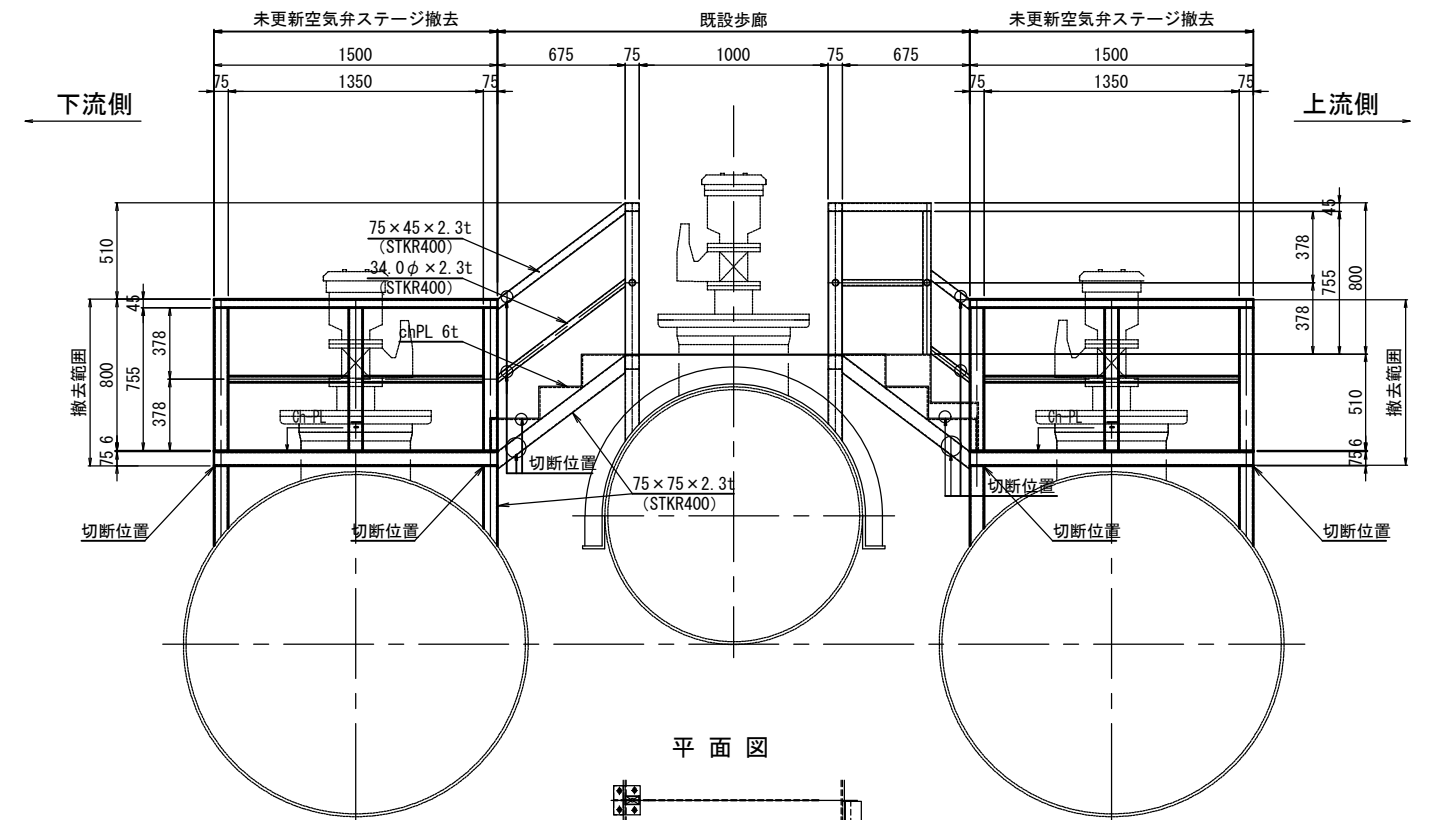


更新済空気弁ステージ

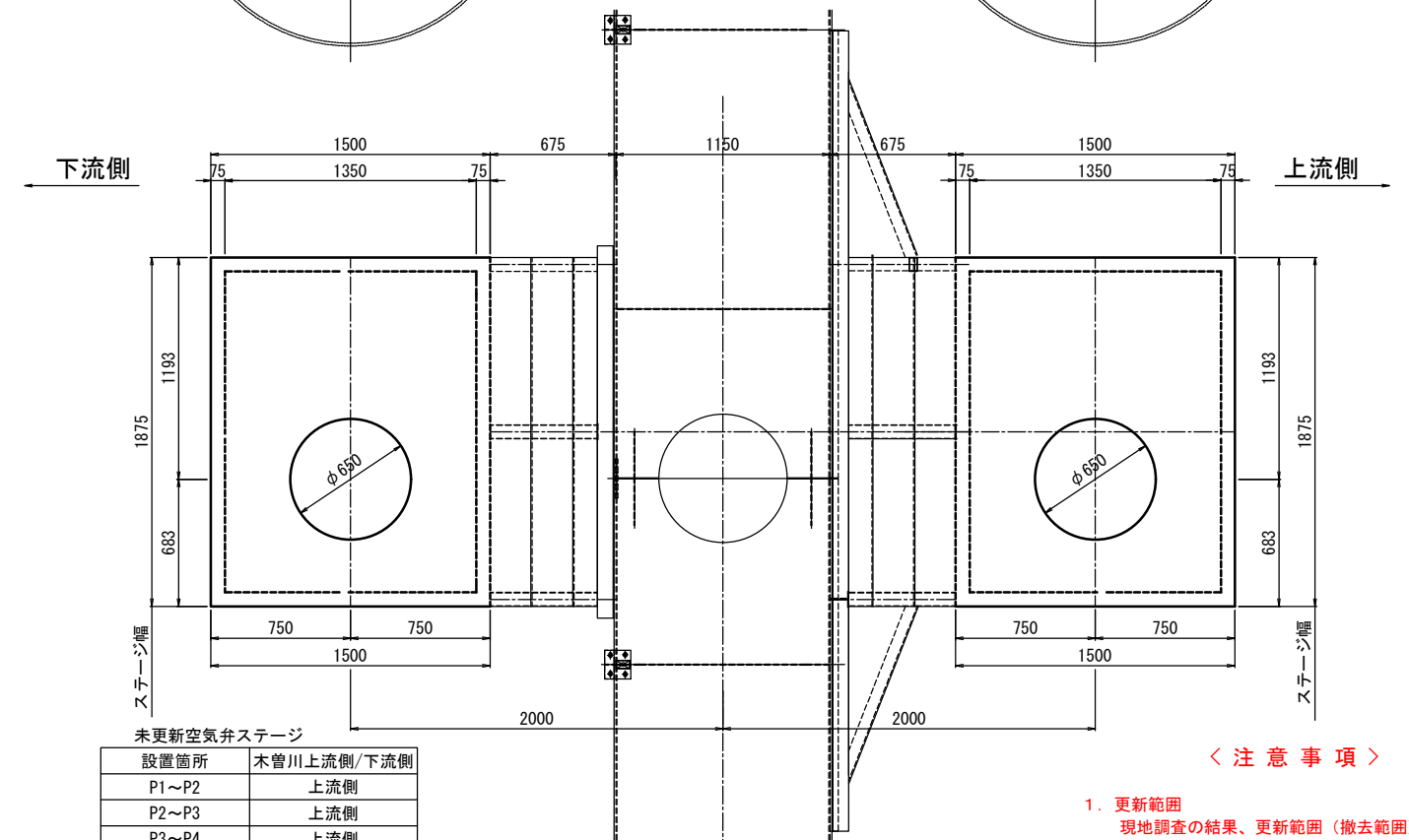
設置箇所	木曾川上流側/下流側
P1~P2	下流側
P2~P3	下流側
P3~P4	下流側
P4~P5	上流側・下流側
計	5箇所

未更新空気弁ステージ

断面図



平面図



未更新空気弁ステージ

設置箇所	木曾川上流側/下流側
P1~P2	上流側
P2~P3	上流側
P3~P4	上流側
P5~P6	上流側・下流側
P6~P7	上流側・下流側
P7~P8	上流側・下流側
P8~P9	上流側・下流側
P9~P10	上流側・下流側
P10~P11	上流側・下流側
P11~P12	上流側・下流側
P12~P13	上流側・下流側
P13~P14	上流側・下流側
計	21箇所

〈注意事項〉

- 更新範囲
現地調査の結果、更新範囲(撤去範囲)を拡大する必要がある場合は、更新範囲の見を行うものとする。

業務名	木曾川水管橋塗装他設計業務		
名称	空気弁ステージ図 (更新済・未更新)		
登録番号	縮尺: S=1:20		
整理番号			
独立行政法人水資源機構 木曾川中下流用水総合管理所			

【参 考 資 料】

- ・本参考資料は適正、迅速な見積りを供するための資料として示すものである。

【状況写真】



木曽川水管橋



【状況写真】



木曾川左岸堤防道路への進入口



木曾川左岸堤防道路からの
資材搬入状況例

【状況写真】



木曽川右岸堤防道路への進入口



木曽川右岸堤防道路からの
資材搬入状況例

【状況写真】



空気弁ステージの状況
真ん中は歩廊。空気弁設置箇所に
作業用ステージ(上流側・下流側)が
設置されている。